



発行：研究・イノベーション推進機構  
<https://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>

研究をおもしろくわかりやすく  
 研究に新しい風を吹かせよう！

## 今号のテーマ

# 夏の特別企画、第2弾：質問にお答えします！

北国の短い夏もあっという間に終わってしまいました。過ぎてしまえば猛暑の日々も懐かしく、そんなに急いで秋にならなくても・・・と思ってしまうます。

さて、Vol.16で「研究環境に関するアンケート」に寄せられた質問にお答えしました。今回は第2弾です。

## 🔍 論文校閲について

Q 英文校正など、論文投稿費用の助成があると助かります。

A 国際共著論文、増えていますね。「[研究論文校閲料支援事業](#)」をご活用ください。研究論文を国際ジャーナル等各種の学術雑誌へ投稿する際必要となる経費を支援します。活用している先生も増えてきています。また、部局独自の助成事業(附属病院など)を行っているところもありますので、ご活用ください。

## 📖 研究者総覧について

Q 研究者総覧を充実させ、学内外の研究者・一般の人にも開示し、閲覧できるような仕組みを作りたい。

A 「[研究者総覧](#)」は、現在も学内外に対して公開されています。  
 「研究者総覧」のデータは、教員業績評価に使われている「[大学情報データベース](#)」から取り込まれています。現在、科学技術振興機構(JST)が運営する「[researchmap](#)」と本学「大学情報DB」の連携作業を行っています。これまで両システムは連携しておらず、各教員が「大学情報DB」と同様の内容を入力する二重入力作業が発生しておりました。今回のシステム改修により、双方向のデータ取り込みが可能となり、教員の入力負荷が軽減されます。「CiNii Articles」「PubMed」「Web of Science」からのデータ取込も、引き続き利用可能です。こちら、運用可能となりましたら、改めて皆様にお知らせする予定です。

また、顔写真についても支障のない範囲で掲載していただくと、「研究者総覧」の充実につながりますので、ぜひ、大学情報DBへの登録をお願いします。

## 📖 論文に対する業績評価

Q 英文雑誌のIFやFirstなど、研究業績に応じて個人の研究費を配分してほしいです。

A ご意見、ありがとうございます。現在、国際的に評価の高い学術誌に論文が掲載された研究者に研究費を支援する事業を検討中です。本学で導入している研究分析ツール(InCites Benchmarking)を活用する予定ですが、こちらも詳細が決定次第、皆様にお知らせします。

## 📖 若手研究者への支援

Q 若手が主体の研究助成が増えると良いです。

A それでは、今回も、**若林理事(研究担当)**のお考えを伺ってみましょう！

若手研究者への支援は大学としての最重要課題の一つだと考えています。

ただ、これまでのやり方では最も業績を挙げている研究者に研究助成をしてきたと思います。これも大事なことですが、これからは「良い仕事をしているけれど、あと一歩のところまで科研費が獲得できない研究者」に支援をするようなことができないかと模索しています。

「やる気のある若手研究者」に公開の場でプレゼンをしてもらい、質問を行うというような方法も面白いかなと思っています。



いかがでしたでしょうか？  
**2回に渡り、質問にお答えしてきました。次回をお楽しみに！**